

四国森林管理局の取組等について

令和3年11月
四国森林管理局

新たな

森林・林業基本計画

令和3年6月

閣議決定!

「持続性」と「成長」を両立させる時代へ

森林・林業
基本計画
とは？

森林や林業・木材産業に関する施策の基本的な方針を定めた計画です

森林・林業基本法に基づき、おおむね5年ごとに計画を変更しています。

どうやって
計画を変更
したのか？

林業・木材産業関係者をはじめ皆様の意見を基に変更しました

検討前と計画案作成後、広く国民の皆様から意見を募集し、それを踏まえて林政審議会での議論が重ねられました。

※意見の詳細は下記HPよりご覧いただけます。



林野庁ホームページにおいて、
森林・林業基本計画のポイントや本文、
林政審議会での検討資料などをご覧いただけます！

誰のための計画？

森林の恵みを受ける全ての国民の皆様に関係します。例えば…



✓生活者

豊かな自然 山村での暮らし

SDGs アウトドア 木の家



✓林業・木材産業関係者

持続的な林業経営 再造林

木材生産 木造建築 輸出



✓地方の行政機関

森林情報の整備 複層林化

山村振興 森林生態系の保護



森林・林業基本計画



森林・林業基本計画の基本的な方針

前計画

新計画

森林・林業・木材産業による「グリーン成長」



人工林が利用期を迎えたこと等を背景に、林業・木材産業の「成長産業化」を推進

森林を適正に管理して、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させることで、2050カーボンニュートラルも見すえた豊かな社会経済を実現

目標の進捗

- 森林資源は充実(54億m³)、複層林の誘導に遅れ
- 国産材供給量は概ね計画どおりの31百万m³に

施策の方向

- 原木の安定供給体制の構築
- 木材産業の競争力強化／新たな木材需要の創出

施策の進捗

- ※ **森林**→森林経営管理制度・森林環境税を創設
- ※ **林業**→経営体の規模拡大等は進んだが取組は途上
- ※ **木材**→製材工場等の規模が拡大／中小工場は減少→耐火部材等の開発が進展、民間非住宅分野での利用も始まる

課題・情勢変化

- ※ **森林**→皆伐地の再造林未実施→災害の激甚化「気候変動×防災」
- ※ **林業**→伐採収入で再造林ができる林業の確立→人口減少（従事者の減少＝省力化が不可欠）
- ※ **木材**→品質管理等の徹底（JAS・KD材、集成材）→不透明な住宅需要（人口減少と新型コロナ）
- ※ **持続性**→SDGs／2050カーボンニュートラル／脱プラスチック

○ 森林資源の適正な管理・利用

- 適正な伐採と再造林の確保（林業適地）
- 針広混交林等の森林づくり（上記以外）
- 森林整備・治山対策による国土強靱化
- 間伐・再造林による森林吸収量の確保強化



○ 「新しい林業」に向けた取組の展開

- イノベーションで、伐採→再造林保育の収支をプラス転換（ERTツリ、自動操作機械等）
- 林業従事者の所得と労働安全の向上
- 長期・持続的な林業経営体の育成



○ 木材産業の国際+地場競争力の強化

- JAS乾燥材等の低コスト供給（大規模）
- 高単価な板材など多品目生産（中小地場）
- 生活分野での木材利用（広葉樹家具など）



○ 都市等における「第2の森林」づくり

- 都市・非住宅分野等への木材利用
- 耐火部材やCLT等の利用、仕様設計の標準化
- 木材製品の輸出促進、バイオマスの熱電利用



○ 新たな山村価値の創造

- 地域資源の活用（農林複合・きのこ等）
- 集落の維持活性化（里山管理等の協働活動）
- 森林サービス産業の推進、関係人口の拡大



【分野横断】デジタル化・新型コロナ対応・東日本大震災からの復興、みどりの食料システム戦略と調和



○ 多くの人工林が資源として利用可能な時期となる中で、森林の**公益的機能を発揮しつつ、この豊かな資源の循環利用を図り、健全な森林を次世代に継承**するとともに、地域の森林・林業を担う**人材の育成や効率的な作業システムの確立**が重要な課題。四国森林管理局は、その**組織・人材・資源を最大限に活用し、地域の林業成長産業化や森林の公益的機能の発揮**に引き続き貢献。

人材育成への取組

- ・現地検討会の開催など、林業事業体の育成に取り組めます。
- ・森林総合監理士活動の推進・活性化に取り組めます。
- ・市町村の林務行政への技術的支援を行います。
- ・将来の森林・林業を担う人材の育成を支援します。



▲車両系集材に関する現地検討会



▲大型ドローンによる苗木運搬の現地検討会



▲ドローンの活用に関する現地検討会



▲「こじゃんと1号」を活用した獣害対策研修



▲高知県立林業大学校へのシカネット設置実習



▲インターンシップの受け入れ

※写真は令和2年度の実施状況

林業成長産業化への貢献

造林の低コスト化と木材生産の収益性の向上

- ・造林の低コスト化に向け、伐採と造林の一貫作業システム、コンテナ苗の活用、下刈りの省力化、ICTの活用、集約化試験団地での実証などに取り組めます。
- ・木材生産の収益性の向上を図るため、列状間伐やシステム販売の実施、民国連携した木材供給等に取り組めます。



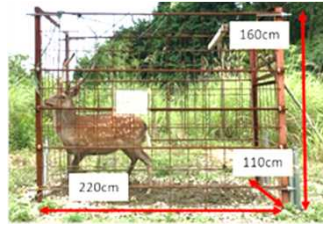
▲列状間伐の実施



▲令和2年度に整備した竹島土場(高知県四万十市)

獣害対策の推進

- ・罠いワナ等によるシカ捕獲や四国森林管理局が開発した「こじゃんと1号」、「こじゃんと2号」の普及・PRに取り組むなど、シカ被害対策を推進します。
- ・防護柵及び忌避剤を用いた試験の実施など、ノウサギ被害対策を推進します。



▲シカ捕獲用小型罠いワナ「こじゃんと2号」(四国森林管理局が開発)



▲シカとノウサギ被害防止兼用ネットの試験状況

国土強靱化

災害に強い国土づくり

- ・平成30年7月豪雨の被害からの復旧として、徳島県三好市及び高知県大豊町において、吉野川上流地区民有林直轄治山事業に新たに着手します。
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、災害時に備え、迂回路としても活用可能な特に重要な林道の整備・強化等を推進します。



▲平成30年7月豪雨による山腹崩壊状況
左：根津木区域(徳島県三好市)



右：立川下名区域(高知県大豊町)



▲四国山地災害初動対応等強化会議の様子(令和2年度の様子)

森林の多面的機能の充実

国民に親しまれる森林や資源の活用

- ・日本美しい森 お薦め国有林の魅力発信や、観光・産業資源への資材供給に取り組めます。
- ・多様な森林づくり“見える化プロジェクト”として、育成複層林施業及び針広混交林への誘導等多様な森林づくりに取り組めます。



▲石鉢風景林(愛媛県西条市)